

令和4年度医療事業部第2回研修会(報告)

主催 (公社) 熊本県栄養士会 熊本地域事業部

日時 令和4年 11月 5日(土) 13:00~16:30

会場名 熊本市医師会館

◇『重症患者、急性期患者における栄養療法の重要性』

熊本大学病院 集中治療部 副部長 講師
鷺島克之 先生

重症患者の栄養管理や急性期患者の栄養管理は難しい。

そのようなイメージを持って参加した研修でしたが、早期に栄養を開始する重要性や投与する栄養量に関してエビデンスを織り交ぜつつ分かりやすく講義していただきました。

できる限り早期に栄養を開始することで、患者さんの回復を栄養の面からサポートできればと改めて認識することが出来ました。



◇『栄養ケアプロセスで書こう~日頃の記録を“まずは”置き換えよう~』

独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター 栄養管理室 副栄養管理室長
加來正之 先生

栄養ケアプロセス。導入したいけどどうして良いか分からない。そのような疑問を解決するためになる講義でした。

実践を繰り返す中で理解が深まってきました。普段から使用しない栄養診断名に戸惑いながらではありましたが、各参加者からの発表等もあり、理解を深めることが出来ました。



栄養療法の歴史や基礎、実践に直結する知識を学べ、活動の実際も知ることができる研修会となりました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにハイブリッド開催となりましたが、無事に終了することができました。今回のオンライン研修会で行ったアンケート結果を参考に、今後も感染症対策に努めながら、研修会を行いたいと考えています。ご講演いただきました、鷺島先生、加來先生、誠にありがとうございました。